

## 平成30年度 第2回伊賀市民美術展覧会運営委員会概要

■日 時／ 平成30年8月29日（水）午後6時～

■場 所／ 伊賀市文化会館 多目的室

■出席者／ **委員**

[絵画部門] 上田保隆委員、小阪のり子委員

[彫塑工芸部門] 新佳三委員（委員長）、辻中静夫委員

[写真部門] 城島正子委員、田中文夫委員

[書部門] 岡井房子委員 菅生摂堂委員

**事務局**

[伊賀市文化交流課] 文化交流課長 滝川、林

[(公財)文化都市協会] 服部参与、吉川課長、百南主査

- 1 募集要項について
- 2 賞の内訳について
- 3 チラシ・ポスターについて
- 4 その他

### 【1 募集要項について】

#### ○展示用フック、ひも

(委員) 要項にはフック、ひもを付けるよう記載があるが、写真はパネルを直接かける形にするのでフック、ひもがないほうがよい。

→ (文化交流課) 写真部門の枠内に、「フック・ひもは不要」と記載する。

(委員) 絵画のフックは上の方にしないと、真ん中だと傾く。搬入で何人か付け直した。

(文化交流課) 要項にその旨記載するか。

(委員) 搬入には運営委員が立ち会うので記載は不要。

#### ○搬入の日時

(委員) 搬入が平日だけだと都合のつかない人がいるのではないか。

(文化交流課) 土日も別に入れようとする、立会いとして運営委員さんにさらに1日おいでいただかなくてはいけない。

(委員) 人に頼んでもいいし、今までも平日1日だけで都合がつかないという声はない。

(文都) 3月の土日はすでに会場の都合がつかない。

→ 変更なしとする。

(委員) 時間はもっと遅くまでやらないと仕事をしていると出せないのでは。

(委員) もっと遅くまでしていたころもあったが、誰も来なかった。

→変更なしとする。

#### ○表記

(文都) 審査員の名前を4文字幅で統一するほうが見やすいのでは。

→了承

(委員) (展示作品の欄の順番について) 「無鑑査」を前に、「運営委員」を後ろに

→了承

(委員) 「入選、入賞」という記述があるが、入賞の人は入選でもあるのだから、「入選」のみでいいのではないか。

(委員) どちらでもいい。

(委員) 変更不要では。

→変更なし

## 【2 賞の内訳について】

### ○「新人賞」の明記

(文化交流課) 岡田文化財団賞について、財団から授賞歴のない人への新人賞として賞を出してほしいとこれまでも言われている。若い人の応募を促すためにも、募集要項に新人賞であることを明記することを提案したい。

(委員) 新人というのは年齢の問題ではない。

(委員) 新人の定義がわからない。

(文都) 年齢のことは書かず、新人賞とだけ書いてはどうか。

(委員) 岡田文化財団賞は伊賀だけではなく、県内のほかの市展でも出している。伊賀市展だけが独走しない方がいい。また、出展者が限られている中で、(授賞歴のない若い人と限定することは) 審査が大変になる。

(文都) 四日市は、「新人賞相当」と記載している。

(委員) 岡田は長い間賞を出していて、それが新人賞だということは皆わかっている。

(文都) それを書いたからと言って高校生が出すとも思えない。

(委員) 若い人に賞をということであれば、奨励賞のうちひとつをU(アンダー) なんとか、などとしてもいい。奨励賞が2点が1点になってもいい。

(委員) 奨励賞には新人賞という意味が含まれている。そこへそんなことを入れない方が、格調高い展覧会になる。

(委員) (岡田を若い人を中心に選ぶというのは) 甘いと思う。若い人でも、誰でも、いいものはいい。入るものは入る。作品次第だ。

(文化交流課) 高校生を特別扱いするのではなく、高校へアプローチもしながら、出してもらえる方法を考えていく。

→募集要項の賞については変更なしで了承。

## ○チラシ・ポスターについて

(文都) 去年はポスターを4回貼り替えてもらったが、大変だったというご意見をいただいた。今年は2種類の案を用意した。ひとつはこの1種類のもの(A案)。なにも関係のない模様のようなが作品を展示するさまざまホール天井を背景にしている。もうひとつは、市展「いが」賞の作品を2部門ずつ写真掲載したものでこれは2種類(B案)。

これらとは別に音楽(会期に開催するコンサート)のポスターを制作する。

(委員) 貼り替えの必要のない最初の案のほうがいい。

(委員) (A案) これなんなの。説明があればそうかと思うが。活字だけで作品を作るのは品がよくない。芸術を扱うポスターなのだから、パソコンで字を探して持ってくるというのはよくない。

(委員) 以前のポスターの字はいい字だった(入江氏作品)

(委員) (A案) これはいいと思う。なぜかという、もうひとつの案が悪すぎるから。しっかりしたデザイナーが考えないと。入江さんはもともとコクヨのデザイナーでプロだ。ちゃんとしたポスターにしないといけない。市展「いが」とひらがなを使ったところに主張があった。それを言うなら、これ(天井の写真)はいい。「さまざまホール」という部分はいらない。

(委員) 入江氏に頼むこともできる。

(委員) (A案は) すっきりしすぎている。(B案) このタイプをしばらくは続けたいといけな。作品によって写真の大きさが違う。差をつけずにレイアウトできるはず。市展「いが」賞を取ったらポスターに載るといのは励みになる。

(委員) 作品を載せると、プロみたいな人が出している。他の人が萎縮する。

(委員) 私はいいと思う。写真があるとどんな市展かよくわかる。

→両方の案に賛否両論であったため、製作者(文都)の意向としてA案を採用することで了承

## ○その他

終了